

○地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 令和3年度実施状況

(山梨県)

	事業名	事業の概要	事業の実施状況	K P I の達成状況	事業の成果及び評価
1	就職氷河期世代支援事業 【不安定な就労状態にある方への支援】	①就職氷河期世代支援事業の周知 ②就職氷河期世代限定求人確保・周知	山梨日日新聞に特集ページとして就職氷河期世代求人や就職イベント情報等を年4回掲載するとともに、8月23日にはLINE広告を実施した。 ①R3.7.4 : 42社の就職氷河期世代求人を掲載 ②R3.8.22 : 30社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代向けのセミナーや就職支援サイトの周知、山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金及び山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金の周知 ③R3.10.17 : 36社の就職氷河期世代求人を掲載、就職支援イベントや就職支援サイトの周知、山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金等の周知 ④R4.2.6 : 30社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代が利用できる職業訓練や就職支援サイトの周知、山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金等の周知	【目標】 就職氷河期世代の求人確保数120件 【実績】 特集ページにおいて、延べ235件の求人掲載	・求人掲載した企業に採用状況を確認したところ、5人の正規雇用につながった。 ・2年度の求人掲載延べ280件、正規雇用7人からは減少することとなったが、氷河期世代本人だけでなく家族にも周知することができるなど、効率的な周知ができたと考える。
		③助成金による正社員化及び企業の定着への支援（厚生労働省「キャリアアップ助成金（正社員化コース）」への上乗せ）	国のキャリアアップ助成金（正社員化コース）のうち、氷河期世代の正社員化に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代正社員化促進奨励金」を創設し、助成を実施した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。	【目標】 就職氷河期世代で失業状態又は非正規労働者が正規雇用労働者として雇用された人数84人 【実績】 正規雇用21件、正社員化10件に対して助成金を支給	・10事業所において10人の正社員化につながった。 ・正社員化6カ月経過後の支給対象であり、創設初年度であったため10件と低調であったが、制度周知により利用数増に繋がっていく。
		④助成金による正社員雇用及び企業の定着への支援（厚生労働省「特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）」への上乗せ）	国の特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金」による助成を実施した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。		・21事業所において21人の正規雇用につながった。
2	就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業 【社会参加に向けた支援を必要とする方への支援】	①家族会、民間支援団体によるコンソーシアムとの連携によるLINE相談	家族会や民間支援団体で構成する「やまなしひきこもり支援コンソーシアム」によるLINE相談を実施した。	【目標】 LINEの友だちユーザー数100人 【実績】 59人の友だちユーザー登録	・電話や来所が難しい相談者に対する窓口をつくることにより、11人からの相談につながった。 ・LINE相談の継続や家族会の支援につながっている。
		②Webメディアによるひきこもり支援関連情報の発信	情報の入手しやすさを考慮したWebメディア（SNS広告、ディスプレイ広告）を活用して、国、県、市町村、民間支援団体の支援策や支援メニューの周知を実施した。 ①Googleディスプレイ広告 : 広告表示約534万回、 クリック数10,226回 ②Twitter広告 : 広告表示約93万回、 クリック数627回	【目標】 ひきこもり地域支援センターが実施する集団支援プログラムへの参加者数8人 【実績】 3人が参加	・ひきこもり当事者や家族へ周知できていると考えられ、社会参加につながった。